

平成27年 3月23日
独立行政法人日本原子力研究開発機構

「『もんじゅ』集中改革の報告書」の文部科学省への提出について
(お知らせ)

日本原子力研究開発機構は、「日本原子力研究開発機構の改革の基本的方向」（平成25年8月文部科学省）を受けて同年9月に策定した「日本原子力研究開発機構の改革計画」に基づき、同年10月から「もんじゅ」集中改革活動を実施してまいりました。

当機構は、集中改革の成果と今後の対応について、もんじゅ安全・改革検証委員会による検証結果も踏まえ、「『もんじゅ』集中改革の報告書」（平成27年3月23日付け）をとりまとめました。

本日、同報告書を文部科学省へ提出いたしましたのでお知らせいたします。

なお、「『もんじゅ』集中改革の報告書」は、当機構公開HPにてご覧いただけます。

公開HP：<http://www.jaea.go.jp/02/press2014/p15032301/index.html>

以 上

平成27年 3月23日

独立行政法人日本原子力研究開発機構
理事長 松浦 祥次郎

「『もんじゅ』集中改革の報告書」の提出について

本日、下村文部科学大臣へ「もんじゅ」集中改革の成果と今後の対応を取りまとめた「『もんじゅ』集中改革の報告書」を提出いたしました。

平成25年10月以降の集中改革期間での活動を通じて、「もんじゅ」改革の目標とした諸課題への取組みを実施し、一定の成果が確認できました。今後の「もんじゅ」改革については、これまでの対策を立案して改革を進めていく「集中改革フェーズ」から、改革を組織文化として定着していくとともに、より高い安全・安心を目指した新規制基準対応を行っていく「定着と再生フェーズ」に移行して継続いたします。

今後も、原子力規制委員会からの保安措置命令解除を最優先にし、「安全を大前提に気づけば躊躇せず直す」を原則に改善活動を継続して参ります。

以上